

学校教育目標	高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子			
	【知】主体的に学習に取り組み、関わりの中で考えを深め、豊かに表現する力を育てます。			
	【徳】自他のよさを認め合い、思いやりや感謝の心をもって行動する力を育てます。			
	【体】自分や人の命と体を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。			
	【公】夢や目標をもち、人・もの・こととの関わりを大切にして、地域や社会で共に支え合う力を育てます。			
【開】多様性を尊重し、コミュニケーションを通して、広い視野で共に生きていく力を育てます。				

学校概要	創立 26 周年	学校長 田淵 恵子	副校長 鎌田 忠裕	2 学期制	一般学級: 13	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 350 人	主な関係校: 荏田南中学校 荏田南小学校 荏田東第一小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	荏田南中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <言語能力>	荏田南中学校 荏田南小学校 つづきの丘小学校 荏田東第一小学校	互いの個性を認め合い、自分を高め、地域とつながる子 ○学ぶ意欲や喜びをもって問題を認識し、協働的に解決策を見だし、実行する能力 ○伝え合いの場を通して、自他のよさを理解し、生き方を追求する姿勢 ○自分の考えを豊かに表現する力 ○地域と主体的に関わり、地域の一員として社会参画する姿勢

中期取組目標	<p>○学校教育目標を実現するため、子ども一人一人を大切に、信頼され魅力にあふれる学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程全体を通して、自ら課題を設定する力、自分で考え解決していこうとする力、対話や協働を通して新しい考えを生み出す力、言語で正確に伝える力など、教科等横断的に育成を目指す資質・能力を育てます。 ・ESDの考え方を基に人権を尊重した教育活動を推進し、互いのよさを認め合い、自己肯定感を高め、思いやりの心を育む指導の充実を図ります。 ・規則正しい生活習慣や体力向上を図り、健康な体力づくりの取組を継続します。 ・保護者・地域と連携し、「ひと・もの・こと」とのつながりを大切にした学びを推進し、つづきの丘のまちへの愛着を高めます。 ・子ども自身が成長を実感し、安心・安全な生活が実現できる教育環境を整えます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①一部教科分担制を導入し、授業の質を高め、子どもの資質・能力の育成を図る。②国語科を中心に自分の考えをもち、共に学び合いながら主体的に課題解決に向かう単元構成の工夫や授業実践を行う。③スキルタイムを活用して反復学習や補充的な学習を実施し、基礎・基本の定着を図る。④一人一台端末を効果的に活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、子どもの学びを最大限に引き出す指導を行う。⑤週1回読書タイムを位置づけ、学力の土台を養う。
徳 豊かな心	①道徳の時間を通して自らを振り返り、自分ごととして課題を解決することを通して、主体的な価値の自覚ができるようにする。 ②教育活動全体を通して、人権を尊重し、子どもが主体的に活動できる場面を設定し、自尊感情を高めるようにする。 ③異学年交流(ペア学年)を意識した活動を通して、自分のよさや相手を思いやる心を育成する。 ④子ども主体であいさつ運動やあたたかい言葉の推進を行い、自分も相手も大切な存在として認め合う心を養う。
体 健やかな体	①月に1回のラジオ体操朝会で健康維持・体力向上へつなげる。 ②集会や体育の学習において、長縄、短縄、持久走に取組み、持久力を高める。 ③食事や睡眠など規則正しい生活習慣を身に付け、健康的な生活を送るようにする。 ④残渣が多いので、食に関心をもてるように、食育に力を入れる。
公 開 自分づくり	①総合的な学習の時間では他教科等と関連させながら課題をもち、探求するために体験的な活動や出前授業(夢教室等)を取り入れ、持続可能な社会の創り手として、夢や希望、目標がもてるようにする。 ②自分づくりパスポート等を活用して自分の成長や変容を見通したり振り返ったりすることで、自らを振り返り、自己肯定感につなげていく。
いじめへの対応	①毎週各学年の「児童支援ファイル」を作成し、学年・担任・専任・管理職等と情報を共有し、チームでの対応を強化する。 ②月1回のいじめ防止対策委員会では、いじめの未然防止・早期発見・早期対応等を実施し、意識を高くもっていじめ根絶を図る。 ③生活アンケートや面談等実施し、子どもの変容を捉え、児童理解に努め、指導に活かす。 ④いじめ防止のための研修を実施し、教職員のスキルアップを図る。
人材育成	①メンター研修では、ミドルリーダーや主幹教諭等が関わりながらメンターの指導力の向上を図る。 ②授業研究や研修等を通して、学習指導や児童指導の実践力を高める。
組織運営(働き方)	①持続可能な学校として、効果的な日課表の運用と効率的な業務とのバランスを考えた働き方を推進していく。(ペーパーレス、グループウェアの活用等) ②一部教科分担制を全学年で実施し、学年経営力を高めるとともに教材研究の時間を確保し、充実をさせる。
特別支援教育	①個別の支援計画、指導計画を基に個に応じた指導、支援を継続し、職員会議等で共通理解を図る。 ②特別支援教室では、子どもの困り感に寄り添い、個に応じた学習を支援する。 ③SCやSSWと連携しながら、専門的な助言を受けながら適切な指導支援につなげていく。 ④「Y-Pアセスメント」を年2回活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。
地域連携・ 地域学校協働活動	①学校運営協議会を発足させ、地域住民・有識者・保護者等の立場から意見を出し合い、地域全体でよりよい学校づくりを目指す。 ②地域力(米・野菜作り、体操等)や学校ボランティア(読み聞かせ、緑化活動、飼育等)の協力を得ながら、「ひと・もの・こと」とのつながりを大切にしたい体験的な学習の充実を図る。 ③運動会など学校行事後に保護者・地域アンケートを実施し、教育活動の工夫・改善につなげる。
安全教育	①年間を通して、様々な状況を想定した避難訓練を実施し、子どもの防災・防犯意識を高める。 ②学校保健委員会を中心に、けが、病気の予防、衛生等への意識の向上を推進し、日常化へとつなげる。 ③月1回の安全点検を実施することで、事故の未然防止と安全管理に努める。 ④教職員の安全意識を高めるために、安全研修を計画的に実施する。